

教科		音楽 (小・中)
	指導の重点事項	努力事項
指導計画の作成	◎ 表現活動と鑑賞活動との関連付け	○ 小・中学校9年間の目標及び内容の系統性を踏まえ、連続性を考慮し、各領域及び各分野がバランスよく配置された年間指導計画を作成する。 ◎ 題材で育みたい資質・能力を明確にし、表現活動（歌唱、器楽、創作）と鑑賞活動との関連を図る。
指導の工夫	◎ 音と言葉によるコミュニケーションの充実 ◎ 音楽表現を試しながら楽しむ音楽づくり	○ 題材の目標に照らし、学習内容を厳選するとともに、魅力ある適切な教材を精選して、指導の充実を図る。 ◎ 子どもの実態とねらいに応じて、多様な学習形態を取り入れて協働的な学習を促し、音と言葉によるコミュニケーションを図る指導を充実させる。 ○ 我が国や郷土の音楽に対して、音楽の多様性を理解することができるような指導を工夫する。 ◎ いろいろな音楽表現を試し、互いの表現のよさを交流するなどして、音楽づくりの過程を楽しめるようにする。
評価の充実	◎ 子ども一人一人の学びを支える評価の工夫	○ 学校や子どもの実態等に応じて、評価の観点をもとに評価規準を作成し、指導と評価を一体として子どもの学習状況を把握する。 ◎ 子どもが思いや意図をもって音楽表現を追究したり、音楽の美しさを味わったりする学習過程を組織し、その過程において子ども一人一人のよい点や成長の状況などを積極的に評価し、指導に生かす。

**主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために**

ポイント2 「教材との出会い・学習課題の把握」      ポイント3 「見通し」

**身近な素材を生かし楽曲との出会いの場を設定する導入の工夫**



楽曲との出合わせ方を工夫し、学習課題の設定をする。

学習課題

祭囃子のどんなどころがワクワクするのかな？  
自分なりの方法で説明できるようにしてみよう！

- ・ 地域祭礼の映像資料の視聴から音のみの聴き取りへ
- ○神社のお祭りですね。たくさんのお店があって楽しいですね。音が聴こえます。何の音でしょう？（モニターに布をかけて）お囃子ですね。笛、和太鼓、鉦の音が聴こえますよ。どんな感じに聴こえますか？
- ・ 本単元の教材を聴かせてお囃子との比較へ
- ○神社のお囃子と聴き比べてみて、どんなどころが似ていますか？



ロずさんでみたら…



手や膝を打つてみたら…



自然に体が動いて、ワクワクしてくる。

音楽を形づくっている要素と照らしてみたら…

ポイント5 「まとめ・振り返り」

**まとめた内容を具体的な演奏や鑑賞を通して再生・確認する振り返る活動の充実**

共有した内容を、再度演奏したり、鑑賞したりする。

子どものまとめ

違う音色の楽器を同時に使うと、音が重なり合ってワクワクしてくる。

鉦の音を聴くと、はずむようなリズムを感じる。体で表現すると、細かく飛び跳ねるような動きになるからワクワクしてくる。



1つの楽器と3つの楽器の演奏を聴き比べながら確かめてみましょう。

速度とリズムに気を付けながらもう一度聴き、体を動かして表現してみましょう。